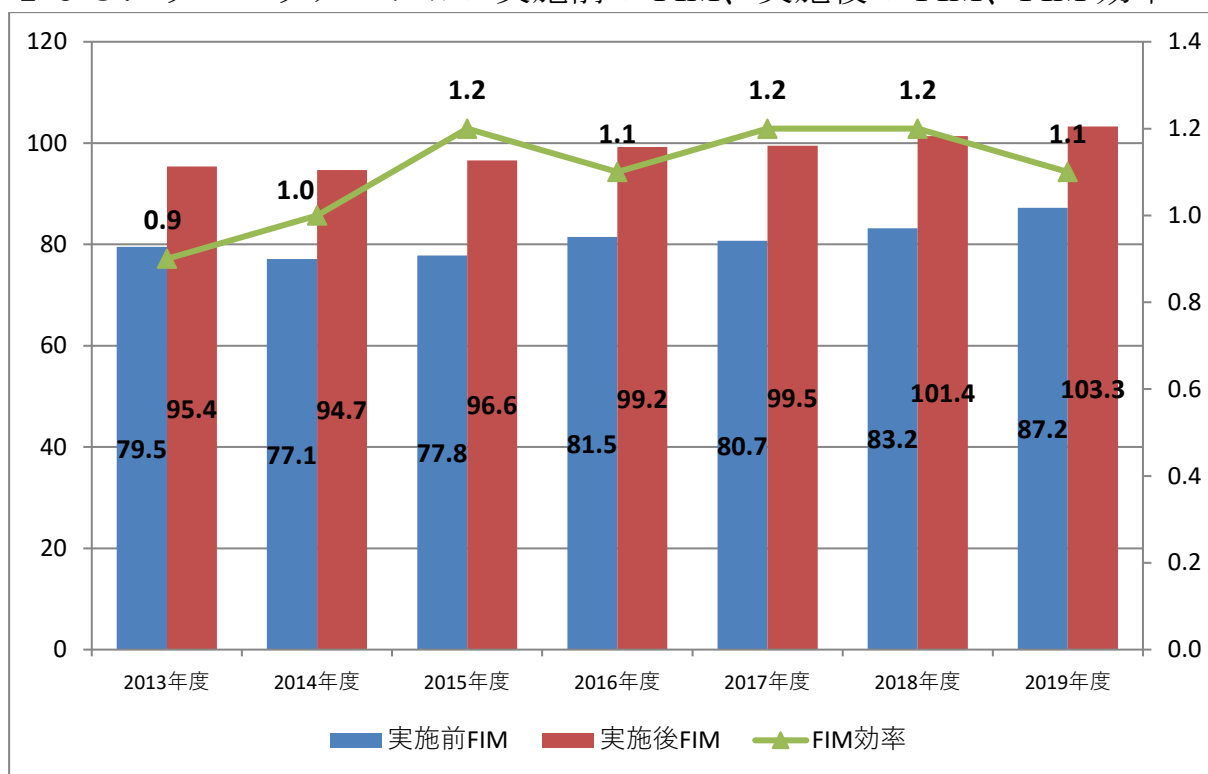


108. リハビリテーション実施前の FIM、実施後の FIM、FIM 効率



リハビリ実施前と実施後の FIM^{※1} の点数の推移と FIM 効率^{※2} を示す。2019 年度の FIM 利得^{※3} は 16.1 点、FIM 効率は 1.1 であり、ここ数年、FIM 効率は 1.1～1.2 を推移している。今後も安定したリハビリ効果を確認するためにはスタッフ教育が重要であり、質向上に向けて臨床教育に力を注ぐ必要がある。

※1 FIM : Functional Independence Measure、機能的自立度評価表

最も臨床で使用されている日常生活活動の評価表

※2 FIM 効率 : (退院時 FIM-入院時 FIM) / 入院日数

日常生活がどの程度改善したかの指標であり、点数が高いほどリハビリの効率が
高いことを示す。

※3 FIM 利得 : 退院時 FIM-入院時 FIM

データ提供 リハビリテーション部